

史跡 山中城跡

花 flower map
あるき



史跡山中城跡

開花マップ

月別開花状況

4月	ハワモクレン ミンパツツツ 紅梅 染井吉野 大島桜 三島桜 山吹	5月	アヤメ ヤマボウシ サツキ キショウブ	10月-11月	ツバキ
6月	睡蓮				



1 西水戸

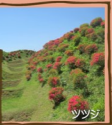


大島桜

2 西櫓



ツツジ



3 西ノ丸



談



ミツハツツシ

4 北ノ丸



5 箱井戸



アジサイ



睡蓮

6 田尻の池



キショウフ



アヤメ

7 宗関寺



紅梅

8 入口広場



ヤマボウシ



9 すり鉢曲輪



山吹

山中城って？

山中城は、戦国時代末期の天文年間から永禄年間（1530～1560年頃）、小田原を本拠としていた北条氏によって築城されました。山中城のある伊豆地方北部は、武田・今川領と国境を接しており、本城である小田原城にとって西方防衛の要の地でもありました。天正年間、全国統一をめざす豊臣秀吉が小田原攻めに着手すると、山中城は並山城、足柄城とともに最前線の軍事拠点として重要視され、堀や出丸などの大改修が行われました。天正18年（1590）3月29日、6万7千の豊臣軍の総攻撃を受け、4千の北条勢は必死に防戦しましたが、圧倒的な兵力の差の前に、あえなく落城してしまいました。豊臣方で一番槍を果たした渡辺勘兵衛の「渡辺水庵覚書」は、この戦闘の激しさを物語るとともに、城の防衛ラインを突破するのために多数の戦死者があったことを記しています。いま、三ノ丸にある宗開寺境内には、山中城主松田康長のほか、両軍の武将の墓がひっそりと苔むして並んでいます。



宗開寺本堂



墓碑

(左奥:本堂・松田 右:一棟、左手前:北条方武将)

山中城は北条氏の築城技術を駆使して造られたもので、その城跡からは戦国時代末期の山城の様子が大変よくわかります。三島市では、400年間埋もれていたこの山城の発掘調査を、昭和48年から開始しました。調査によって、曲輪の周囲に巡らされた堀や土塁などの防御施設、堀の上に架かっていた木橋の跡や門柱跡などが明らかになりました。なかでも「障子堀」や「飲堀」は北条氏の城に特徴的な堀の形で、堀の中に土手状の釘を掘り残して区画しており、衝立障子を並べたようなつくりからそう呼ばれています。出土品には、鉄砲玉・石つぶて・兜の前立などの武器や武具があり、また、陶磁器や古銭・キセルなどの日用品も発見されています。



障子堀（西ノ丸と西櫓の間）



火縄銃部品と鉄砲玉

① 赤色系ー鉄玉 ② 白色系ー鉛玉 ③ 青緑系ー銅、鉛、錫の合金





冬の山中城跡（上空からの西ノ丸・西櫓）

山中城は箱根西麓の尾根上に築城された山城です。山田川や来光川の源流に挟まれ、急峻な斜面に囲まれた自然の要害の地につくられました。城の範囲は東西500m、南北1000mに及びます。城からの展望はよく開け、西櫓からは御殿場・裾野方面が、岱崎出丸からは伊豆北部と駿東の大半を一望のもとに見わたすことができます。

また、花の咲かない寒い季節には、芝の冬枯れにより、土で覆われた堀や土塁の姿がより浮かび立って、築城当時の山中城の姿を感じることができます。

見学コース

- ① 西櫓 & 障子堀 → 本丸 → 岱崎出丸 90分～120分
- ② 西櫓 & 障子堀 → 本丸 45分～60分



マツシソフ

史跡山中城跡 アクセス 三島市山中新田410-4

- バス 三島駅南口から約30分、東海バスオレンジシャトル（元箱根港行）「山中城跡」下車。
- 自動車 国道1号を箱根方面に、市内中心部から約25分。無料駐車場あり。



Yamanaoka Fort Ruins

クサギ

国指定史跡
山中城跡 flower map

発行年月日 平成29年9月29日
編集・発行 三島市教育委員会 郷土文化財室

〒411-0035静岡県三島市大宮町一丁目8番38号
TEL 055-983-2672
FAX 055-983-0870
E-mail:bunkazai@city.mishima.shizuoka.jp

